

～ 2050年脱炭素社会へ～ 脱炭素ロードマップと世界の進展状況

エネルギー価格高騰に伴い、あらゆるものの物価高が私たちの暮らしを直撃しています。化石燃料が手ごろな価格で入手できる時代は終息に向かい、世界では再エネと省エネなど、脱炭素産業へのゲームチェンジが急速に進んでいます。日本で暮らす私たちも、当然この影響を受けることになります。

最近の報道にもあるように、IPCC第6次の統合報告書では地球温暖化のより厳しい現状への警笛が鳴らされています。

そこで今回、IEAの2050年脱炭素に向けたロードマップに描かれている内容についておさらいをし、建物・交通・電力などそれぞれの部門における世界の現状についての情報提供し、議論する場を設けます。

解説や情報提供には、（国研）産業技術総合研究所でエネルギーや脱炭素社会について取り組まれている歌川氏と櫻井氏にご登壇いただきます。CV代表の村上と共に皆さんと議論できる機会を楽しみにしています。



博士（工学：東北大）専門は機械工学・環境工学省エネ・温暖化対策の導入評価、国の脱炭素・エネルギーシナリオ、地域発展と両立した地域の脱炭素・エネルギーシナリオの研究。著書に「スマート省エネ」共著に「地域分散型エネルギーシステム」「入門再生可能エネルギーと電力システム」「エネルギー自立と持続可能な地域づくり」他

（国研）産業技術総合研究所
 主任研究員
歌川 学



博士（工学：京大）独ハーンマイトナー研究所客員研究員、米国国立再生可能エネルギー研究所客員研究員等を経て、現在産業技術総合研究所安全科学部門主任研究員。太陽電池の研究に20年ほど従事した後、現在は地域の脱炭素化の研究に従事。中古の日産リーフ愛用

（国研）産業技術総合研究所
 主任研究員
櫻井 啓一郎



環境ジャーナリスト
 コンサルタント・CV代表
村上 敦

ドイツ在住。ゼネコン技術者を経て97年に渡独後、持続可能なまちづくり・交通・エネルギーをテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を日本に発信。主な著作「キロワット・イズ・マネー」「ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか」「進化するエネルギービジネス」他

場 所：クラブヴォーバン セミナールーム（東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8F） / オンライン

（注意）セミナールームでのリアルでの開催、議論をメインにするため、オンラインでのご視聴では聞き取りにくいこと、内容が不明瞭になる場合があることを、あらかじめご承知おきくださいませ

事前申し込み要：CVサポーター及び自治体会員のみ 参加費無料（法人および自治体の方は3名まで）

セミナー終了後、近隣の飲食店にて懇親会開催 参加費各自

2023年

5/24 (水)

18時30分～20時

■ 問い合わせ・申込み先 ■

一般社団法人クラブヴォーバン
 Email mail@club-vauban.net

- ①ご氏名 ②ご所属（法人および自治体の方）
 - ③メールアドレス ④現地参加 / オンライン参加
 - ⑤懇親会参加有無 を明記
- 後日参加に必要な情報をメールにてご連絡します



会場「新橋」駅 徒歩約2分

クラブヴォーバンは、世界に先駆けて持続可能なまちづくりを行っているドイツの“ヴォーバン住宅地”を模範とし、日本国内で「持続可能な低炭素型のまちづくり」をめざす経営者や地方自治体・研究者・学生などあらゆる立場の人たちが学び集うためのネットワーク(場)です